



## 二つの「適齢期」と、 そのギャップについて考える。



静岡大学教育学部  
冬木 春子准教授  
FUYUKI HARUKO

「結婚適齢期はもはや存在しない」とよく言われるようになりました。確かにかつては「クリスマスケーキ」―若い世代の人はこの言葉の含意がおわかりでしょうか―などということもよく耳にしましたが、昨今は必ずしもそうでもないようです。全国調査から見ても平均初婚年齢は年々上昇し、結婚年齢は多様化しています。

しかし、社会や文化のあり方が変化したとしても、生物としてのヒトはそれに見合った速度で進化するわけではありません。今日においてもヒトの雌、すなわち女性の妊孕性については、個人差はありますが35歳をすぎるとしだいに低下するようで、出産を控えたり、遅らせたりしているうちに、出産する事態が困難になることもあります。したがって、単に女性のライフスタイルの選択の問題としてのみ考えるならばともかくとして、社会の世代的再生産の問題として考えるならば、文化や社会の変化の産物としての「適齢期消滅」と

「厳然として存在する生物学的適齢期」とのギャップにどう対処するのが深刻な課題とならざるをえないでしょう。いわゆる「少子化問題」は、このように言い換えることもできるのではないのでしょうか。

人々が結婚に求めるものの一つに「子どもをもてる」ということがあります。厚生労働省による「少子化に関する意識調査」(2004)においても、未婚者による結婚のメリットの第一番目に「家族や子どもをもてる」があげられています。わが国では「婚外子」の出生率が他の先進諸国と比較して低いことを考えると、結婚と出産は切り離して捉えられていないようです。だからこそ、先にあげた「適齢期消滅」と「厳然として存在する生物学的適齢期」とのギャップに対処することが求められると言えるでしょう。

では、「ギャップに対処する」とはどのようなことでしょうか。端的に言えば、生物学的適齢期に結婚適齢期を同調さ

せるということにならざるをえないでしょう。そのことは、生物学的適齢期に結婚適齢期があたりまえのように同調していた時代に、私たちのライフスタイルを戻すことを意味するものではありません。むしろ、現代的なライフスタイルの基本を維持・継承しながらなおかつ二つの適齢期を同調させるといふ道を、わたしたちは追求せざるをえないでしょう。それは一つには「結婚も、子どもも、仕事も」と望む女性たちが、二つの適齢期を同調させることができるような社会環境を整えることです。特に、20代後半から30代前半にかけての「出産適齢期」にあたる年齢は、勤労者として、あるいは専門家としての能力の向上を迫られる時期でもあります。したがって、そのような時期にも、仕事をしながらも出産や子育てをしやすい社会環境を整えることが重要であると言えるでしょう。今日における「少子化問題」の解決とは、結局そのようなことだと思います。

ところで、人間はこの世に生を受けてから、常に周りの他者と「通じ合う」関係を求めています。そのなかで形成される親密な人との関係性を拠り所として自分の世界を広げ、発達していくのです。それは人間だけがもつ欲求があり、発達という観点から見ても重要な意味をもっています。結婚の本質的な意味の一つは、この人間としての欲求を充たすためだと考えられます。ところが現実には、若者を取りまく環境が、これらの欲求さえも充たせないような状況にあることにも注意する必要があります。大学を卒業しても正社員として就職できるとは限らないですし、正社員として就職できても長時間労働を強いられる状況があるなかで、結婚の経済的準備はおろか、その前提としての「出会い」のための時間すら確保できないという現実もあります。結婚を望んでいる人々が結婚しやすくなるような方向へ、世の中のある方を変えていくという発想も、求められるのではないのでしょうか。

結婚します。

結婚しません。

木村幸男さん

(メンズ・サポート・しずおか共同代表)



まぼろし

2003年・フランス  
監督フランソワ・オゾン  
シャーロット・ランプリング/ブリュノ・クレメール  
DVD4935円・発売日(2003年3月28日)  
アーティストフィルム VDBF-1033

幸せに連れ添ってきた50代の夫婦。ある日のこと。ふたりは、避暑地の海辺で午睡をしていた。そしてふと目覚めた妻は、夫がいないことに気づく。海で溺れたのか、蒸発したのか。探しあぐねた彼女は、かかりつけの医院へ。すると、夫は妻に内緒で、ある病気の治療をしていた。つぎに義母を訪ねると、皮肉まじりでいわく・・・「あなたは、彼のことを、なにも知らないのね」。

ミステリータッチで描かれる夫婦と義母の微妙な心理模様。ほろ苦い愛のドラマ。監督は、女を描いたら右に出る者はいないとまでいわれる若手の名匠、フランソワ・オゾン。初期のものには、「ホームドラマ」「サマードレス」など、ゲイを扱った作品もある。

鈴木そなたさん

(ライター・シナリオライター)



向田邦子テレビ作品集  
冬の運動会  
向田邦子  
(大和書房)

向田邦子のドラマに出てくる夫達は嘘つきだ。『冬の運動会』でも『阿修羅のごとく』でも、こっそり愛人という秘密基地を用意して、そこで男としての素の自分を解放する。妻達も嘘つきだ。そんな夫の嘘に気づきながら、女としての本能で知らないふりを。ドラマは、そんな嘘がほころび出した所から転がっていく。塩を振られたキュウリのように、家族に振りまかれた嘘で、夫や妻という冠の下に隠れた人間の本性がじんわりと滲み出てくる。が、向田邦子は「嘘をついてはいけません」などと子供じみた事は決して言わない。「嘘の微妙なさじ加減こそ大人の技量。嘘が夫婦の味わいを増すのよ」。向田ドラマからは、料理上手だった彼女のそんな囁きが聞こえてくるのだ。

## 新しい結婚を考える Books & Cinemas

編集部お勧めの本

「婚活」時代

山田昌弘・白河桃子  
(ディスカヴァー・トゥエンティワン)



結婚しなくていいですか

益田ミリ(幻冬舎)

『「婚活」の時代』(ディスカヴァー叢書21)はパラサイトシングルという言葉を生み出した社会学者、山田昌弘と、少子化ジャーナリスト白河桃子による共著。本書では就職活動(就活)になぞらえて結婚活動を「婚活」と名づけた。不況の続く昨今、自分の稼ぎだけで家族を養おうという男が減り、一方、専業主婦願望丸見えの女性が敬遠されるようになっている時代状況を描いている。『結婚しなくていいですか。すーちゃんの明日』(幻冬社)は益田ミリの描く4コママンガ。主人公のすーちゃんは35歳シングル、恋人なし、貯金200万円、1人暮らし。すーちゃんとその友人が「おひとり様」の老後に不安を抱えながら暮らす繊細な気持ちを描く。結婚しても、しなくても、自分らしく生きる女性たちに乾杯!

静岡英和学院大学

図書館司書お勧めの本



結婚の条件

結婚の条件

小倉千加子(朝日文庫)

心理学者である著者が、結婚難現象の秘密に迫る。現代女性の生き方とは?あまりの面白さに各界の評判をとったエッセイ集。現代女性の結婚観を、様々な事例に基づいて分析している本。そういう事例を読むだけではこう勉強になります。著者が読者に示した「生存のための結婚」という視点は、20~30代の独身男女が漠然と抱いていた結婚に対する疑念を見事に晴らしたのではないのでしょうか。本書はあくまで分析するところまでで、現代女性にああしろ こうしろと言うものではなかったと思います。しかし、結婚や恋愛に対する自分の思い込みがどこから来ているのか考え、自覚するだけで、何かひとつ自由になれるような気がします。くり返し読んで、自分の中で熟成させたい本です。

鬼塚大輔さん

(静岡英和学院大学  
人間社会学科 教授)



JUNO

2007年・アメリカ  
監督ジェイソン・ライトマン  
エレン・ペイジ/マイケル・セラ  
(C)TWENTY CENTURY FOX

16歳の高校生ジュノは父、継母、それに母違いの妹と共に住んでいる。ある日ちょっと気になる陸上部の男の子と面白半分でした一度限りのセックスで妊娠してしまう。一度は中絶しようとするが親友と両親に助けられながら、これから産まれてくる赤児のために里親探しに乗り出す。

ここまで聞くと、妊娠出産という高校生にとっては大変な試練をへて健気に成長していく少女の物語を想像すると思うが、実際はちょっと違う。ジュノは終始一貫して、我がままで意地っ張りで皮肉屋で全然がまん強くないが、根は気立てのよい、要するにどこにでもいる普通の女の子である。この普通の子がいろいろな壁にぶちあたってメソメソしたりぶつくさ言いながらもたくましく前向きに進んでいくところに、この映画の味がでている。

共働きの両親、里親探し、10代での妊娠、未婚の子育て、里親の離婚、現代の男女共同参画を考えるにあたって、これもひとつの実例として結婚について考えてもらいたい。

「そのあと」が違ってきます!

## あざれあの出前講座

「あざれあ」では、普段「あざれあ」を会場として行われている男女共同参画に関する講座になかなか来られない方を対象とした様々な出前講座を行っています。

出前講座を行う先は、学校、企業などです。

あなたの会社や学校単位での参加を是非お待ちしております。

### 1 あざれあサテライト講座

あざれあに来なくても来られないあなたにお薦め! あなたの街であざれあ講座を。

- 1月27日(火) 藤枝市 対象：女性 テーマ：女性のためのコミュニケーション講座
- 3月11日(水) 三島市 対象：女性 テーマ：アロマセラピー講座

### 2 地域カレッジ

あなたの市や町と一緒に男女共同参画を考えましょう。市町と「あざれあ」が共同で講座を開催します。

※11月～2月実施予定 富士宮市、御前崎市、伊東市、袋井市

### 3 児童・生徒・保護者・教職員のための男女共同参画セミナー

- 6月6日(水) 静岡市立清水小島小学校
- 6月10日(水) 浜松市立富塚小学校
- 7月4日(金) 掛川市立大浜中学校
- 7月17日(木) 県立富岳館高等学校
- 9月17日(水) 東海大学付属翔洋中・高等学校
- 10月31日(金) 袋井市立浅羽中学校

対象：保護者・教職員

テーマ：「子育てと自分育て

～ゆとりある家庭のなかで子どもを育てるために～

講師：中央大学教授 広岡守穂さん

- 11月4日(火) 県立磐田西高等学校

対象：1年生・教職員

テーマ：「デートDVってなんだろう？」

～互いを尊重し合う恋愛関係をめざして～(仮)

講師：NPO法人SEAN代表理事 遠矢家永子さん

- 11月6日(木) 牧之原市立相良中学校

対象：2年生・教職員

テーマ：「夢に向かって生きる

～編集長からロボット技術研究センター室長へ～(仮)

講師：千葉工業大学未来ロボット研究所室長 先川原正浩さん



えっ、こんなにたくさんの  
出前講座があったんですか。  
これは会社として利用しなければ損。  
そうだったのか。  
「あざれあ」に頼むという手があったんだ。



#### 4 事業所出前講座

- 7月12日(土) 静岡県労働金庫労働組合
- 7月16日(水) 中部電力株式会社静岡支店
- 9月19日(金) 医療法人社団駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院
- 10月23日(木) イオインダストリー株式会社  
対象：管理監督者  
テーマ：仕事と家庭の調和を可能にする働き方  
講師：静岡県立大学教授 犬塚協太さん
- 11月27日(木) 医療法人浜名会 浜名病院  
対象：医師、看護、介護職員  
テーマ：経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス  
講師：富士通総研経済研究所主任研究員 渥美由喜さん

#### 5 デートDV防止出前講座

若い世代へのDV防止に対する啓発。  
現在も将来においても加害者にも  
被害者にもならないことを目的に、  
デートDVについての基礎知識や予防・対応まで。

- 9月19日(金) 国際観光専門学校浜松校
- 10月20日(月) 静岡県理容美容専門学校
- 10月28日(火) 静岡英和学院大学
- 11月6日(木) 国立大学法人静岡大学
- 11月25日(火) 日本大学国際関係学部

#### 6 職務関係者セミナー

DV被害者が、二次被害にあうことを防ぐため、  
DVの正しい知識や心構え・対応について  
職務関係者が学ぶことを目的としています。

- 10月15日(水) JA静岡厚生連 遠州病院



## 将来ないたいものは…



## 編集委員

川野泰寛  
永島京子  
増淵礼子  
村田美千子  
安田成希  
アドバイザー  
平野雅彦



## 編集後記

- 百聞は一見にしかず。知識は実践しないと完全には身につかないものですね。初めての本格的な編集作業、慣れないことの連続は、ことの外、大変なものでした。ただ、初めての作業は自分の中の何かを刺激してくれました。(川野泰寛)
- 大きくりっぱなイチゴの株は実を付けないそうです。人もしかり。今の生活に満足なのに、どうしてわざわざそれを手放すのでしょうか。さらに携帯電話がどんどん便利になって、結婚の形も変わってきています。(永島京子)
- 個人の意識が社会を変えるのか。社会が個人の意識を変えるのか。結婚云々についてじっくりと考える機会をいただき、ニワトリとタマゴの迷路に放り込まれた気分でした。「ねっとわあく」の編集で、ふだん使わない脳を鍛えています。(増淵礼子)
- 今時の結婚事情は、時代を映す鏡でした。命の尊さとか、生活からリアル感が薄れていくものが増える中で、「結婚」もその中に入っているのかもしれませんが。人生の大事な選択肢。自分らしく向き合えたらいいのですが。(村田美千子)
- 先日、高校時代の友人が結婚しました。近所の保育園の子どもの父親が同い年でした。年下の従弟が婚約しました。遅かれ早かれ、いずれやって来るであろう婚期というものに気が付けるように、同級生との間の恋愛格差を埋めていこうと思います。(安田成希)
- 多様であることは悪いことではない。むしろ生物はそうすることによって生き延びてきた。結婚も生命史全体に影響を与える重要な問題をはらんでいる。それをコンビニの流行やファッションの傾向と並べて語ることに違和感を覚える。(平野雅彦)

## 53号の感想をお寄せ下さい

- ◆本誌はさみこみの八ガキ
- ◆E-mail [kouryuukaigi@ka.tnc.ne.jp](mailto:kouryuukaigi@ka.tnc.ne.jp)
- ◆FAX 054-251-5085 いずれかの方法でお願いします。



# ねっとわあく

2008/10/16 Vol.53

発行日/平成20年10月16日  
監修/静岡県男女共同参画センター  
〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1  
企画・編集・発行/あざれあ交流会議グループ  
TEL/054-250-8147 FAX/054-251-5085